新燃岳噴火に対し能登町と能登町議会から義援金

新燃岳噴火を受けて能登町から100万円、能登町議会から15万円の義援金が贈られました。3月24日、持木一茂能登町長と向峠茂人能登町議会議長が市を訪問。持木町長は「昨年の寒波で水を送っていただき大変助かりました。その感謝の思いも込めて義援金を贈ります」と話していました。

左から杉元市議会議長、肥後市長、持木町長、向峠町議会議長。市と能登町は平成24年から姉妹都市協定を結び交流を図っています

同校は西諸地域の看護師不足解消のため、平成24年に2市1町が協力し誘致活動を行い、平成27年に開校しました

小林看護医療専門学校1期生国家試験合格率100パーセント達成

3月に卒業した小林看護医療専門学校1期生（看護学科37人、医療秘書学科4人）が看護師国家試験の合格率100パーセントを達成しました。4月から全員が就職しており、このうち31人が西諸地域の医療機関や福祉施設などへ。今後の地域医療を支える担い手として活躍が期待されます。

永久津の活性化を目指し地域支援員を15人に委嘱

4月16日、永久津中学校区のきずな協働体設立を目指し、住民ら15人に地域支援員を委嘱しました。きずな協働体は地域住民と協働でまちづくりを進める組織。地域支援員を代表し吉藤洋子さんは「未来の子どもたちのためにも地域の活性化に取り組んでいきたい」とあいさつしました。

地域支援員の皆さん。これから1年間、地域の魅力や課題を発掘し、安心安全で魅力的なまちづくりを推進する活動に取り組みます

宣誓する川上さん。今年度は509人が消防団に在籍し、市民の生命、身体、財産を守るための活動に取り組みます

市民の生命、財産を守る消防団入退団式を開催

4月2日、平成30年度小林市消防団入退団式が中央公民館で開催されました。22人が退団、新たに24人が入団。入団者を代表して第5分団第1部（須木鳥田町）川上幸平さんは「住民の生命、身体、財産を保護し、郷土愛護の精神に基づき使命達成に努めます」と宣誓しました。

1

2

Photo 1 和牛のグランドチャンピオン岩元さんとなつ号。
2 乳牛の各部門で優等1席を獲得した受賞者と関係者ら。

和牛・乳牛125頭が出場
小林市総合畜産共進会

4月12日、第13回小林市総合畜産共進会が小林地域家畜市場で行われました。和牛4部門に111頭、乳牛4部門に14頭が出場。和牛は岩元ほたるさん、乳牛は谷口俊文さんがグランドチャンピオンを獲得しました。

【以下結果・順位順（敬称略）】

■和牛の部▽雌子牛＝筧継男、佐土原望、石橋秀人、鳥越浩、永久井博昭▽去勢子牛＝瀬崎直人、森岡伸一、野田紘三▽育成1類＝永久井博昭、木場雄一、森田正明▽育成2類＝岩元ほたる、脇屋敷哲、池田敏文■乳牛の部▽乳牛1類＝中村大輝、轟木和広、谷口俊文▽乳牛2類＝谷口俊文▽乳牛3類＝谷口俊文、後藤政文▽乳牛4類＝谷口俊文、高佐政昭、中村大輝■種牛団体▽和牛の部＝北部畜産振興会■枝肉共励会▽肉牛の部（46頭出品）＝㈱西ノ原牧場■環境衛生共励会▽養鶏の部＝東原信宏▽養豚の部＝桑水流剛■乳質改善共励会▽乳牛の部＝㈲ダイワファーム■功労者表彰＝中屋敷慶次、今村勇、吉村昭生、井上亘

取り組みを紹介します

きずな協働体　今月は、南校区

定期総会の様子

定期総会を行いました！

昨年10月に発足した「南校区まちづくり協議会」は、4月7日に定期総会をKITTO小林で行い、これまで行った活動と今年の活動についての報告をさせていただきました。

今年度は、これまでに行ってきた活動をさらに充実させ、音楽祭の開催など地域の皆さんが楽しく元気になるようなまちづくりを推し進めていきたいと思います。

また、南校区まちづくり協議会の情報はフェイスブック、ホームページなどから市内外に向けて発信しております。これからますます展開していく私たちの最新情報を是非ご覧ください。

南校区まちづくり協議会 吉村秀昭 会長

「地区でできること」、「住民が自ら考えできること」を実践していきます！

西諸生コン組合が防犯ブザー寄贈

3月26日、西諸地区生コンクリート事業協同組合が市内の新小学1年生に防犯ブザー430個を寄贈しました。同組合の外村公明（そとむらきみあき）副理事長は「今年で8年目の取り組みです。子どもたちの安全に少しでも役立てばうれしい」と話していました。

須木区域の地域づくりを考える

3月17日、地域づくり講演会（すきむらづくり協議会主催）が須木総合ふるさとセンターで開催されました。宮崎大学地域資源創成学部熊野稔（くまのみのる）教授が登壇。地域住民ら約100人が来場し、須木区域の持続可能な地域づくりについて理解を深めていました。

危険物安全協会クリアファイル寄贈

4月5日、西諸小林地区危険物安全協会が市内の新小学1年生に2種類のクリアファイルを寄贈しました。同協会の児玉龍之介（こだまりゅうのすけ）会長は「市民の財産を守ることについて小さいころから理解を深めてほしい」と話していました。

九州電力がIHクッキングヒータ寄贈

3月30日、九州電力㈱がIHクッキングヒーター2台を市に寄贈しました。TENAMUビル2階交流スペースと野尻のびのび子育て支援センターに設置。今後、生涯学習講座や料理教室、食育の推進などで活用していきます。

交通安全協会が反射タスキなど寄贈

4月6日、小林地区交通安全協会が市内の新小学1年生に交通ルールが記載された下敷き、新中学1年生に反射タスキを寄贈しました。同協会の溝口誠二（みぞぐちせいじ）会長は「子どもたちの交通事故防止の一環として活用してほしい」と話していました。

小林LC（ライオンズクラブ）が自転車用ワイヤー錠寄贈

4月6日、小林ライオンズクラブが市内の新中学1年生に自転車用のワイヤーロック錠432個を寄贈しました。同クラブ宮永大輔（みやながだいすけ）会長は「子どもたちが安全に登下校できるよう、自転車盗難防止に役立ててほしい」と話していました。

谷口莉穂（たにぐちりほ）さんが硬筆で観峰大賞受賞

第24回公募日本習字展（応募数9万6033点）の硬筆部門で小林中3年の谷口莉穂さん（永井書道教室）が部門別で最高賞の観峰大賞を受賞しました。谷口さんは「一文字ずつ心を込めて書きました。驚きとうれしさでいっぱい」と話していました。

同じ夢を持つ仲間たちと学びたい

4月10日、西諸医師会立小林准看護学校の入学式が行われ、19人の新入学生が看護の道への志を立てました。新入学生を代表して中原明（なかはらめい）さんは「学校規則を守りながら、同じ夢を持つ仲間と共に学んでいきたい」と宣誓しました。

全国高等学校選抜大会 優勝
小林高校ウエイトリフティング部3年
中武 涼（なかたけ りょう）さん（18）

インターハイ、国体も優勝し 高校3冠をとりたい いつか世界で戦える選手に

小林人 こばやしびと Vol.76

いかに重いバーベルを頭上まで上げられるかを競うウエイトリフティング。3月に石川県で開催された全国高等学校選抜大会の男子53㌔級で小林高校3年の中武涼さんは、見事優勝の栄冠を手にした。

「昨年のインターハイや国体で悔しい思いをしたので、目標としていた優勝ができて素直にうれしい」。

中武さんがウエイトリフティングを始めたのは高校から。顧問の内之倉和彦先生から誘われたのがきっかけだ。競技を始めるとわずか3か月で20㌔以上記録を伸ばしていった。

「努力した分だけ数字として結果に現れるのがおもしろい」と、どんどん競技にのめり込んでいった。

しかし、そこから半年は思うように記録が伸びない日々が続いた。そこで、まずは土台となる下半身の強化に取り組んだ。少しずつ記録を伸ばし、全国で戦うための自信もつけた。それでも2年生のとき国体では13位に終わった。

「力を出し切れば入賞できた。もっと精神的に強くならないと」。

精神力は練習でつけるしかない。さらにレベルアップを図るため、フォーム改善や高負荷なトレーニングなどに取り組んだ。顧問の内之倉先生も「国体後は練習に対する姿勢が変わった。全国で勝つんだという強い気持ちがあふれていた」とその努力を称賛する。

「今年のインターハイと国体で優勝して3冠を取りたい。そして、世界で戦えるような選手になりたい」。

中武さんの快進撃は、これからも続く。

㊤150㌔以上のバーベルを持ちスクワットをする中武さん。㊥部室には日本一の高校生の文字。「競技はもちろん、生活面やあいさつでも日本一の高校生になりたい」㊦現在、部員14人で日々練習に取り組んでいる